授業科目名・形態	障害者福祉論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	柴田　博	実務経験の有無	有	開講期	１年後期
科目ナンバリング	W4-1031cR				

【授業の主題】

障害のある人の心理や身体機能及び環境に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の生活を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護サービスの視点を習得する。また、障害の概念や障害者福祉の基本理念を理解するとともに、障害が社会環境とのかかわりで生じることの基本的知識を学習する。

【到達目標】

1. 障がいのある人の心理や身体的機能、社会的側面に関する基礎的な知識を理解すること。
2. 障がいのある人の生活と障がいの特性に応じた支援を理解すること。
3. 障がいのある人とその家族を地域で支えるためのサポート体制について理解すること。

【授業計画・内容】

第　1　回　障害の概念、捉え方、障害者福祉の基本理念
第　2　回　障害者福祉に関連する制度、介護保険制度との関連
第　3　回　障害のある人の心理
第　4　回　肢体不自由（運動機能障害）のある人の理解と生活支援
第　5　回　視覚障害、聴覚・言語障害のある人の理解と生活支援
第　6　回　重複障害、内部障害、重症心身障害のある人の理解と生活支援
第　7　回　知的障害のある人の理解と生活支援
第　8　回　精神障害のある人の理解と生活支援
第　9　回　高次脳機能障害のある人の理解と生活支援
第　10　回　発達障害のある人の理解と生活支援
第　11　回　難病のある人の理解と生活支援
第　12　回　地域のサポート体制
第　13　回　チームアプローチ
第　14　回　家族への支援
第　15　回　家族の介護力の評価と介護負担の軽減

【授業実施方法】

講義

【事前・事後学習】

講義内容を踏まえ、復習を毎回２時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

生活支援技術論

【教 科 書 等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『第 14 巻　障害の理解』中央法規出版

【参 考 文 献】

必要時に資料配布

【成績評価方法】

筆記試験 100％

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

障がい者支援施設の実状、家庭復帰・就職等の事例について伝えたい。

【学生へのメッセージ】

「障害」を社会生活・環境との関わりでとらえよう。